

# 学生まちづくり提案

## 防災マップや緑化促進

葵 区

静岡理工科大と静岡デザイン専門学校は19日、若者の視点で中心市街地の御幸町、伝馬町、鷹匠のまちづくりについて検討する「みみてたプロジェクト2019」の発表会を、静岡市葵区のペガサートで実施した。防災マップの作成や駐車場の新たな活用法など、75人の学生たちが五つのテーマで提案し、地元自治会関係者ら約30人が耳を傾けた。

防災マップは地域で発生した過去の事件や災害情報などを基に作成し、地区のイメージとして防災力の高い街を目指することを提案した。駐車場の土地を生かした休憩スペースの創出や緑化促進のほか、イラストで街の歴史がわかる碑の設置などの案も出した。

同プロジェクトは3年計画で、初年度の今回は3地区の新たな魅力や課題を探った。来年度からはさらにテーマを掘り下げていく予定という。

(社会部・伊藤さくら)



駐車場の活用方法などについて発表する学生  
＝静岡市葵区のペガサート